



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大名

上場会社名 株式会社 太平製作所

コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,611	16.0	286	△12.7	290	△9.9	169	△41.7
24年3月期第2四半期	2,251	138.2	328	—	322	—	290	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 155百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 296百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	12.60	—
24年3月期第2四半期	21.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
25年3月期第2四半期	6,553	—	3,224	—	49.2	—	240.16	
24年3月期	6,661	—	3,122	—	46.9	—	232.57	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,224百万円 24年3月期 3,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,850	△9.4	260	△59.5	275	△56.5	160	△76.9	11.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	15,000,000 株	24年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,574,354 株	24年3月期	1,574,354 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	13,425,646 株	24年3月期2Q	13,426,504 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進み、回復傾向ではあるものの、いまだヨーロッパ及びアメリカ経済の低迷や円高等の影響を受けて低水準にあり、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループは積極的な営業活動と機械の開発活動に努力した結果、売上高は、2,611百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。利益につきましては、売上増加と原価管理をきめ細かく実施しましたが、材料費の高騰もあり、営業利益は286百万円（前年同四半期比12.7%減）、経常利益は290百万円（前年同四半期比9.9%減）、四半期純利益は169百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、東日本大震災の後、復旧復興需要により、合板業界全体が徐々に上向きになりつつあることから売上増加へとつながり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,549百万円（前年同四半期比8.3%増）と、前年同四半期の売上高を若干上回る結果となりました。営業利益につきましては、コスト削減等にも最大限努力しましたが、183百万円（前年同四半期比38.9%減）と前年同四半期を下回る結果となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、積極的な営業活動と機械の改良・改善に努力した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は665百万円（前年同四半期比70.0%増）と前年同四半期の売上高を大きく上回る結果となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、コスト削減等にも最大限努力した結果、167百万円（前年同四半期比201.7%増）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅建材業界全体に持ち直しの動きが少しずつ見え始めておりますが、東日本大震災の影響により木材製品等が依然として不足していることから住宅建材全体の需要としては大変厳しい状況下にあります。当第2四半期連結累計期間の売上高は396百万円（前年同四半期比7.6%減）と、前年同四半期を下回る結果となりました。営業利益につきましては、売上の減少が大きく影響し、経費削減等にも最大限努力しましたが、6百万円（前年同四半期比37.1%減）と、前年同四半期を下回る結果となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、4,692百万円となりました。これは主に、現金及び預金が50百万円減少、受取手形及び売掛金が36百万円、有価証券が100百万円増加、たな卸資産が206百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、1,860百万円となりました。これは主に、有形固定資産が6百万円、投資その他の資産が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、6,553百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、2,588百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が147百万円減少、未払法人税等が56百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.4%減少し、739百万円となりました。これは主に、長期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、3,328百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、3,224百万円となりました。これは主に、利益剰余金が115百万円増加したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末残高と比べ462百万円減少し、1,643百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は210百万円（前年同四半期は285百万円の獲得）となりました。これは主に、仕入債務の減少及び役員退職慰労引当金の減少に伴う資金の減少に対して、税金等調整前四半期純利益の計上、たな卸資産の減少に伴う資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は523百万円（前年同四半期は42百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出及び有価証券の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は158百万円（前年同四半期は105百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、長引く欧州債務危機を背景にした海外経済の減速や円高などにより、設備投資意欲も伸び悩み状態であることや、材料等の高騰が今後においても継続することが予想され、依然として不透明な状況が続くものと思われま。

住宅着工戸数についても、徐々に上向きにはなりつつありますが、いまだ低水準であることから完全な回復までにはまだ程遠い状況であります。

このような状況の中、当社の主力合板機械事業での大型機械はすべて受注生産であり、売上計上に至るまでには長期間を要することや、季節的な要因も大きく、安定した売上を計上することが難しい状況であります。新しい製品の開発や機械の改良・改善にも力を注いでおりますが、著しく差別化された商品力を持つまでには到達していないのが現状です。

当社グループといたしましては、これらの状況を踏まえて、芽を出しつつあるオンリーワンの製品群をナンバーワンに押し上げるための政策として営業戦略の強化を図り、安定した業績の確保を目指しております。

今後の見通しにつきましては、米国経済の低迷による円高や欧州危機による経済の不安定要素がさらに増加し、当社グループを取り巻く事業環境も、減産や設備投資の抑制が現実には行われており、先行き不透明な状況が今後とも継続されるものと予想されます。業績の改善は最重要課題であります。当社グループはそれぞれ顧客の視点に立ち、ニーズに対応した製品の開発に取り組み、海外に向けての営業活動に目を向け、安定した受注確保と新製品の開発に力を注ぐ所存であります。

以上のような見込み、最近の業績動向等を踏まえた結果、平成24年11月7日付で通期の連結業績予想の修正を行いました。なお、平成24年5月14日に公表した通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,100	百万円 285	百万円 305	百万円 180	円 銭 13.40
今回発表予想（B）	4,850	260	275	160	11.91
増減額（B－A）	△250	△25	△30	△20	－
増減率（％）	△4.9	△8.8	△9.8	△11.1	－
（ご参考）前期実績 （平成24年3月期）	5,355	641	632	691	51.53

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633,608	2,583,249
受取手形及び売掛金	1,328,398	1,365,318
有価証券	—	100,000
製品	31,688	—
仕掛品	548,215	403,502
原材料及び貯蔵品	178,669	148,487
その他	68,391	102,308
貸倒引当金	△9,742	△10,416
流動資産合計	4,779,229	4,692,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	726,485	720,128
土地	689,746	689,746
その他（純額）	88,963	88,433
有形固定資産合計	1,505,196	1,498,308
無形固定資産	45,405	40,628
投資その他の資産	331,462	321,758
固定資産合計	1,882,064	1,860,694
資産合計	6,661,294	6,553,144
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,174,369	1,027,109
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	57,680	114,540
賞与引当金	66,344	62,815
役員賞与引当金	18,600	14,000
受注損失引当金	24,796	—
その他	301,902	320,312
流動負債合計	2,693,692	2,588,776
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
繰延税金負債	146,441	144,564
退職給付引当金	203,173	198,363
役員退職慰労引当金	67,473	9,883
その他	27,990	87,160
固定負債合計	845,078	739,971
負債合計	3,538,770	3,328,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,487,046	2,602,615
自己株式	△205,485	△205,485
株主資本合計	3,108,761	3,224,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,761	64
その他の包括利益累計額合計	13,761	64
純資産合計	3,122,523	3,224,396
負債純資産合計	6,661,294	6,553,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,251,072	2,611,908
売上原価	1,550,933	1,949,104
売上総利益	700,139	662,803
販売費及び一般管理費	371,809	376,236
営業利益	328,329	286,566
営業外収益		
受取利息	649	365
受取配当金	2,370	2,398
鉄屑売却収入	1,839	1,692
助成金収入	1,955	—
デリバティブ評価益	—	1,977
為替差益	—	2,522
その他	2,868	4,718
営業外収益合計	9,683	13,674
営業外費用		
支払利息	8,608	7,265
デリバティブ評価損	641	—
為替差損	5,065	—
その他	1,682	2,863
営業外費用合計	15,998	10,129
経常利益	322,014	290,112
特別損失		
固定資産除売却損	293	2,011
投資有価証券評価損	32,589	—
特別損失合計	32,882	2,011
税金等調整前四半期純利益	289,132	288,101
法人税、住民税及び事業税	568	110,552
法人税等調整額	△1,781	8,276
法人税等合計	△1,213	118,829
少数株主損益調整前四半期純利益	290,345	169,272
四半期純利益	290,345	169,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290,345	169,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,468	△13,696
その他の包括利益合計	6,468	△13,696
四半期包括利益	296,814	155,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,814	155,575

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	289,132	288,101
減価償却費	49,160	42,167
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,315	673
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46,934	△3,529
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,150	△4,600
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△24,796
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,771	△4,810
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,749	△57,589
受取利息及び受取配当金	△3,020	△2,763
支払利息	8,608	7,265
為替差損益 (△は益)	1,382	△8,884
投資有価証券評価損益 (△は益)	32,589	—
固定資産除売却損益 (△は益)	293	2,011
売上債権の増減額 (△は増加)	△650,591	△36,920
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△692,478	206,583
仕入債務の増減額 (△は減少)	753,775	△147,259
前受金の増減額 (△は減少)	437,880	23,582
その他	18,023	△13,585
小計	291,834	265,646
利息及び配当金の受取額	3,020	2,763
利息の支払額	△8,619	△6,762
法人税等の還付額	972	537
法人税等の支払額	△1,338	△51,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,869	210,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△132,000	△412,000
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△8,353	△11,640
有形固定資産の売却による収入	47	—
無形固定資産の取得による支出	△1,500	—
投資有価証券の取得による支出	△212	△218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,018	△523,859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△56	—
配当金の支払額	△54	△52,278
その他	△5,097	△5,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,208	△158,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,382	8,884
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	137,259	△462,358
現金及び現金同等物の期首残高	1,572,863	2,105,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,710,122	1,643,249

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,430,453	391,613	429,005	2,251,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,490	—	2,490
計	1,430,453	394,104	429,005	2,253,563
セグメント利益	301,013	55,526	10,431	366,972

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	366,972
セグメント間取引消去	△2,490
全社費用（注）	△36,152
四半期連結損益計算書の営業利益	328,329

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,549,876	665,548	396,483	2,611,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,549,876	665,548	396,483	2,611,908
セグメント利益	183,990	167,505	6,558	358,054

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	358,054
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△71,487
四半期連結損益計算書の営業利益	286,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。